

省エネ診断でムダを発見コストダウンにつなげませんか？

背景

政府は、日本の温室効果ガスを2030年までに2013年比で26%削減すると世界に約束しました。これを受け、この数年に約2000件の省エネ診断(CO2削減ポテンシャル診断)を実施し、10%以上のCO2削減につながる結果を得ました。

しかし3年以内に投資回収が可能であるにも関わらず対策を実施しない事例も多く、政府は対策の実施率を高めることを推進する方針です。

そこで2015年度に環境省が策定した診断ガイドラインに従い、国は中小企業と中小規模事業者を対象にした施策に乗り出しています。

オオスミの省エネ診断

環境省認定事業者(予定)のオオスミが、お客さま(オフィスビル・工場事業所・医療施設・ホテル等)の省エネ診断を行い、対策案を提示します。この費用は環境省が全額補助します。

対策案に沿って、省エネ機器の導入や工事する場合は、中立な立場の当社が適切な製品・事業者等をご紹介します(お客さまとお付き合いのある事業者様に相談されても問題ありません)。

1週間 計測付診断
総合診断: 100～110万円迄
特定システム診断: 60万円迄

● エネルギー削減率が10%以上と判断された場合、最大で対策費用の1/2を国が補助する仕組みもあります。

補助金対象となる施設

オフィスビル、工場、病院、ホテルなど多くの電力や熱を使用する施設が対象となります。このうちCO2換算で50t以上3,000t未満の施設が、補助金の対象となります。電気使用量をCO2換算のエネルギー使用量に換算するためには次の数式に当てはめて頂くと推定できます。

実際には当社の診断部門が詳細にお聞き取りをしながら、対象になるかどうかを調査致します。

簡易計算式

$$\text{年間電力の使用量} \quad \boxed{} \text{ 千 KWh} \times \mathbf{0.468} = \boxed{} \text{ tCO}_2/\text{年}$$

※1 ※2

※1 電力会社からの明細書をご覧ください

※2 東京電力エナジーパートナー(株)平成30年度実績

株式会社オオスミの特徴

平成28年度の診断事業社は全国で92社。オオスミはその中の1社です。

1968年創業の歴史

オオスミは、2017年11月で創業50年を迎えました。昭和の公害対策を経験し、21世紀の環境問題の解決に寄与する環境のプロです。電気・燃料系の視点だけではなく、環境全般の知識と経験を持つことから、様々な提案が可能です。

独立した調査・診断機関

設備や機械、対策品を売ることが目的ではありません。オオスミでは、最新式の省エネ型機器への入れ替え提案も行いますが、それだけではなく、配管の保温やリペア等の修繕で対応できるアプローチ等も提案します。

データの見える化でポイント指導

2020年度までにホテル・製造工場・オフィビル等に対して様々な空調システム・給排水システムの診断を実施してきました。約90件の省エネポテンシャル診断の経験を基に、その業種やシステムの特徴に合わせた対策や運用改善の提案が可能になりました。

また、法令も加味しながら、いつまでに対策が必要なのか等のアドバイスを行うこともできます。

調査の流れ

